

宮嶋 謙 議員



Q 複合交流拠点施設は市街地の中心に整備すべきではないか伺う

A 駅から徒歩で行けて車でもアクセスがしやすいといった視点で決定しました

Q 複合交流拠点施設整備計画では、その設置場所が土浦市との境界になっていきます。市民のための施設であれば、使う人の近くに整備するというのは当然の考え方だと思います。神立駅より近いことと住民に近いこと、どちらを優先するのでしょうか。市街地の中心にある市保有地の稲吉ふれあい公園などの活用を優先的に考えるべきではないですか。

A 市長公室長 稲吉ふれあい公園については、土地利用基礎調査において15か所の中に選定されており、評価はAランクでした。しかしながら、神立駅に極力近く、徒歩でアクセスができる範囲、さらには停車場線や幹線道路延長線で車でもアクセスがしやすいといった視点で施設の整備の検討を行った結果、こちらの候補地に決定いたしました。

Q 認知症や知的障害、精神障害などが原因で判断能力が不十分な人の権利を守るため成年後見制度があります。高齢化が進むほど、成年後見制度の重要性は高くなることから、後見人に対する報酬助成など、制度の利用促進のための支援の拡充について伺う。

A 保健福祉部長 成年後見制度ならびに要綱につきましましては、大至急枠を広げるように手続きを進めたいと思っております。また制度自体があまり知られていない面もありますので、社会福祉協議会と連携してPRし、1人でも多くの方がこの制度を利用できるように進めていきたいと考えております。

質問通告事項

21 成年後見制度利用支援について
土浦市との境界に総事業費26億円の複合交流拠点を整備しようとしていることについて



久松 公生 議員



Q 今後の新型コロナウイルス感染症対策における商工関連の支援策について伺う

A 地方創生臨時交付金を活用しながら、感染防止と地域経済活動の両立を図ってまいります

Q 新型コロナウイルス感染症予防対策として、対策しきれていない事業者に対しての支援や、経済対策等について伺う。

A 産業経済部理事 国から事業継続力強化の認定を受け、防災・減災・感染症対策に取り組む中小企業者に対し、事業継続力強化促進奨励金として1事業者当たり10万円を支援する考えです。本奨励金は、防災減災対策費用だけでなく、新型コロナウイルス感染症予防対策の費用にも使用できるようになっております。また、市内の消費喚起及び経済下支えを目的として、昨年度に続きかすみエールプレミアム商品券を発行するよう、本定例会の補正予算へ計上させていただいております。

Q 石岡・かすみがうら広域幹線道路は三次救急医療機関である土浦協同病院への連絡道路としての機能を有するほか、利便性の高い道路となつてくると思うが市長の考え、思いを伺う。

A 市長 石岡・かすみがうら広域幹線道路整備事業につきましては、安全、安心なまちづくりが進められる道路整備計画をいたしました。また、道路網の観点から土浦協同病院への連絡道路となります土浦市の田村沖宿線延伸及び県道牛渡馬場山土浦線歩道整備につきましても、あわせまして完成に向けて関係機関と協力して取り組んでまいります。今後とも、石岡市、土浦市と緊密に連絡をいたしまして、千代田大橋から角来、さらには土浦協同病院につながる道路網の早期完成に向けて、私がリーダーシップをもって取り組んでまいります。

質問通告事項

21 新型コロナウイルス感染症対策について
石岡・かすみがうら広域幹線道路について



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、質疑応答を通常90分の持ち時間で行う一般質問は、45分に短縮して行いました。

設楽 健夫 議員



Q 感染拡大市町村に指定された当市の変異株及び新型コロナウイルス対策の現況と対策について伺う

A 今後も基本的な対策を継続することに加え、人流抑止策も講じます

Q かすみがうら市の変異株ウイルスの現況と調査率、発生率、特徴と人流感染抑止対策、国は7月末までにワクチン接種としていますが、当市における接種登録者数と登録率、登録されていない方の人数について説明をお願いします。

A 保健福祉部長 変異株の特徴としては、全体として従来株よりも感染しやすく重症化しやすいことも指摘されております。市独自の人流抑制策として、かすみがうら祭、あゆみ祭りなどのイベントを中止し、人流抑止を図っております。ワクチン接種ですが、65歳以上の方が約一万三千人おり、5月25日の時点で約八千六百名（66%）が予約し、残り約6千名については、予約がされていない状況でございます。

Q 下稻吉市街地中央の市保有地、稲吉ふれあい公園五〇〇〇㎡等がA評価、D評価が筑波ハウス。下稻吉中学校区市街地の中心から遠く離れた南端の土浦市行政境界隣接地の社宅、D評価筑波ハウス跡地を複合交流拠点の用地に決定した理由は何か、A評価の第1候補地のパースは存在しているのではないか。

A 市長公室長 第1候補地にもパース図を作成してあります。

質問通告事項

- 1 感染拡大市町村に指定された当市の変異株及び新型コロナウイルス対策の現況と対策について
- 2 利権付度・金銭授受受けない市政へ政治倫理条例制定とコンプライアンスについて
- 3 コロナ禍、逼迫財政を圧迫する11億円の最南端飛び地購入を止め、市街地中央に市保有地を活用した市民主体の図書館・交流拠点整備計画の再検討について



矢口 龍人 議員



Q 雨水や事業排水が適切に処理されていない施設に対し、どのような指導を行うのか伺う

A 適正な施設整備・運営を指導をしていきたいと考えております

Q 廃棄物処理施設からの雨水や事業排水が適切に処理されていない場合、指導はどのようにしていくのかを伺う。

A 市民部長 一般廃棄物の処分を業として行うとするものは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第7条第6項の規定によりまして、当該業を行うとするとする区域を管轄する市町村長の許可を受けなければならぬとされています。それらが適用除外となる、雨水の処理計画等の提出の必要はない施設であっても、廃棄物処理施設に限らず、また、他の民間事業者についても原則敷地内処理が基本となりますので、それらに準じた指導をしていきたいと考えております。

Q 迷惑施設の許可更新の際、周辺住民の理解や影響、流末水質の汚濁状況はどのように確認、把握するのか考えを伺う。

A 市民部長 水質汚濁防止法第2条第2項に定める特定施設や、茨城県生活環境の保全等に関する条例第35条第2項の規定により排水特定施設、茨城県霞ヶ浦水質保全条例第2条第5項の規定による指定施設に該当せずとも、ゴルフ場や河川で行っているような水質測定を検討したいと考えております。いずれにしても、周辺への配慮は必要であると考えていますので、敷地内で処理を行い、適正な運営となるよう指導をしていきたいと考えております。

質問通告事項

- 21 一般廃棄物処理業の許認可について
- 千代田地区の小学校廃校後の跡地利活用について





佐藤 文雄 議員

Q 複合交流拠点施設は、稲吉ふれあい公園を活用し、日立製作所の社宅の跡地の買上げをやめるべきではないか伺う。

A 本案用地は、先の定例会において債務負担行為をいたしております。よりよい方法を考えて方針を定めていきたい

Q 市長が提案した複合交流拠点施設一五〇〇㎡の建設、これに必要な土地を五〇〇〇㎡としているならば、同規模の市有地、稲吉ふれあい公園を活用して、日立製作所の社宅の跡地の買上げをやめるべきだ。緑地が必要であれば、同公園に隣接した土地を購入したほうが安価でかつ合理的だと思いが、市長の見解を伺う。

A 市長 本案用地につきましては、さきの定例会におきまして債務負担行為をいたしております。本事業を進めることによりまして、魅力あるまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

Q 石岡市では1億円を超える工事は最低制限価格ではなくて、低入札価格調査で改善した。当市でも石岡市に倣ってせめて1億円を超える工事は低入札価格調査制度を採用するお考えはないか伺う。

A 総務部長 本市におきましては、多くの自治体が導入している最低制限価格制度のみを採用している状況でございますが、全国的には最低制限価格制度と低入札価格制度を併用している自治体もございますので、様々な角度から検証し、よりよい方策を定めていきたいと考えております。

321 質問通告事項
入札制度の改善について
複合交流拠点整備事業について
新型コロナウイルス感染症対策について



中根 光男 議員

Q 障がい者のための防災ハンドブックの作成に伺う。

A 分かりやすい防災ハンドブックの作成を検討してまいりたいと考えております

Q 障がい者向け防災ハンドブックの現在の取り組み状況と必要性、今後の具体的な検討と取り組みについて伺う。

A 保健福祉部長 地域防災計画でも十分連携を図りながら災害時に障がい者や困難を抱える人を総合的にフォローできるようなハンドブックは必要であると考えております。近隣市町村の状況を確認しながら、分かりやすく見やすい障がい者のためのハンドブック作成に向け、検討してまいりたいと考えております。

Q 公立小中学校に送風設備を設置し換気を行うことで、夏場などに熱気が籠もりやすい体育館でも、安全で快適な環境で施設を利用できるようにする。また、避難所としての環境整備や児童生徒の健康管理のためにも送風設備が絶対に必要であると考え、執行部の認識と、今後の設置に対する取り組みについて伺う。

A 教育部長 近年の高温異常気象等を考慮いたしますと、体育館活動では新型コロナウイルスを回避するため、これまで以上の対策を検討していく必要性があるものと考えております。教育委員会といたしましても、送風設備につきまして、その方法や有効な補助金の活用などを検討し、公立の小中学校全てに導入してまいりたいと考えております。

32 質問通告事項
障がい者のための防災ハンドブックの作成と配布について
公立小中学校に送風設備の設置について
かすみがうら市農作物鳥獣被害防止計画について



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、質疑応答を通常90分の持ち時間で行う一般質問は、45分に短縮して行いました。

質問通告事項

21 本市における男女共同参画推進事業について
盗難被害が相次ぐ消火栓ホース格納箱内備品について

櫻井 繁行 議員



Q 今後、市が取り組んでいく男女共同参画の推進事業について考えを伺う

A SDGsの考え方を取り入れ、シンポジウムの開催など、前向きに検討していきます

Q 今後かすみがうら市が取り組んでいく男女共同参画の推進事業について考えを伺います。

A 市長 人口減少、少子高齢化が進む中、次世代の育成と、働き手を確保する一つの方策として、男女共に仕事と生活の調和がとれるようになることが重要な課題であります。そして、男女があらゆる分野に参画をして共に責任を担い、平等な立場で個性と能力を十分に発揮することができるように、意識啓発や社会参画の支援に取り組んでいくべきだと考えております。議員ご質問のSDGsにおけるジェンダーの平等を実現しようの考え方を取り入れた計画づくりや男女共同参画シンポジウムの開催など、前向きに検討してまいりたいと考えております。

Q 今後は、保守も含めた新たな水利設置計画を作成する必要があると思いますが、消防本部としてのお考えをお聞かせください。

A 消防長 格納箱設置は有事の際の備えとして、地域住民の安心・安全につながる事業と捉え、水利設置計画に併せ、格納箱の設置及び保守と維持管理に努める考えであります。需要と供給の均衡を図る一つの案として、地域の特性や効率性を検討し、状況に合わせて格納箱設置を見送るなどの対応を検討しております。今回の議員からのご質問を整備指針の参考とさせていただきます。消防行政に万全を期すべく備えていく所存であります。



古橋 智樹 議員



Q 一般会計40億円増額予算も
財政調整基金から繰入れる現状を伺う

A 真に必要な事業に取り組んだ結果で持続可能で魅力あるまちづくりを推進

Q 一般会計40億円増額予算も資金繰りが苦しく、財政調整基金から繰入れしている現状を尋ねます。市税収の安定した費用対効果が見えず、市税収も現状維持をご説明いただきたい。

A 市長 今年度と10年前の予算額を比較しますと、市税伸びに比べ予算伸びが顕著になっていきます。この要因は、市民にとって真に必要な普通建設事業などの多くの事業に取り組んできた結果です。持続可能で魅力あるまちづくりを推進するために、先ずは働き場が必要で、自らが積極的にトップセールスに努め、企業誘致等を推進して、新たな雇用の確保に図ります。

Q 20億円弱の市債で抑制してきたが、令和3年度の市債発行も30億円のボーダーラインに到達するかの予算現状を尋ねます。人件費も抑制しながら行財政改革が足りず、経費の増している現状を憂慮するが、市の現状を伺います。

A 市長 市債の発行は、必要な範囲にとどめるとともに、プライマリーバランスの把握に努め、私の下で責任を持って管理します。行財政改革、待ったなしの課題であり、新たな数値目標を設け、さらなる行政改革を推進します。広域的な対応が求められる課題は、積極的に関係市町村と連携を図り、定住自立圏構想、市町村合併を含め、引き続き多角的に検討します。

質問通告事項

1 一般会計従来比25%増傾向も市税収現状の憂慮について

